

巻頭言



和歌山県知事 仁坂 吉伸

世界とつながる和歌山

本年、和歌山県では、急激に変化する時代の流れに取り残されることなく、適切かつ迅速に対応していくため、今後 10 年間の道しるべとなる新しい長期総合計画を策定しました。

この計画では、「和歌山の魅力ある産業や文化が、世界と直接つながり注目される姿」をめざす形の一つとしています。人口の減少や少子高齢化という国内情勢とともに、経済・社会のグローバル化が大きく進む中、とりわけ経済分野においては、どのような産業であっても、今やその産業における世界での位置取りが常に問われています。取引先が国内にある一企業でも、その取引先が国際的な競争の中で影響を受ければ、同様の影響を受けることになります。また、一方では、あらゆる産業において、世界に広がる新しい市場への積極的な挑戦により、自らの市場を一挙に拡大することが期待できます。これらのことから、今を生きる我々は、常に海外に目を向け、戦略を練り、能力や意識を高めていく必要があります。

このように世界各国との競争が激化する中、本県では成長著しいアジア諸国をターゲットと捉え、香港、インド・マハラシュトラ州、台湾、ベトナム、インドネシアとの間で経済交流に軸足を置いた MOU（覚書）等を締結しています。加えて、県内企業の海外展開やインバウンドへの取組を支援するために、企業の方々とともに、私はもちろんのこと県庁職員が営業活動に世界中を飛び回っているところです。

こうした取組を進めていくためには、世界に通用する人材を育てていかなければなりません。本県でも語学の能力を有した世界に飛び出すことのできる若手県庁職員を精力的に養成してきました。クレア海外事務所、大使館、総領事館、JETRO への派遣はもとより、ここ数年、友好都市である中国・山東省やインド・マハラシュトラ州への若手職員の派遣を続けることで、優れた国際感覚を持った職員が増えています。また、学校教育の場においても友好関係にあるスペイン・ガリシア州やブルネイ・ダルサラーム国との青少年交流事業を実施しているほか、アジア・オセアニアの 20 の国と地域から高校生を招き、県内の高校生と英語のみで交流を行う「アジア・オセアニア高校生フォーラム」を開催するなど、世界に通用する次世代の人材育成に取り組んでいます。

このような取組を持続していけば、世界の中で和歌山県が飛躍する日も近いと私は確信しています。